

医療法人元生会 愛生病院

介護課通信

1 ご意見を…

早いもので、もう7月です
6月中旬ぐらいから、やっ
と過ごしやすくなったと
思えば、汗をダラダラとかく、私
にとって苦手な季節がやってきま
した。(；´ω´)

皆さんにとっては、どんな季節
でしょうか？

先月「介護課通信」発行にあたり、
上司から「すごく良かったよー」
と褒めていただきました。特別
なことはしていないと思うので
すが、そう言ってもらえて、とて
も嬉しかったです。介護スタッフ
の数人からは「(詩を読んで)本
を読みたくなった」と、言ってもら
えました。正直言うと、上司か
らではなく、同じ介護スタッフか
らそう言われることの方が、もっ
と嬉しいです。ぜひ、今後も皆
さんの意見や感想を聞かせてほ
しいです。よろしくお祈りします。



〒078-8340

旭川市東旭川町共栄 223 番 6

看護部病棟介護課

文責：看護部長 五十嵐しのぶ

Tel 0166-34-3838

Fax 0166-34-2867

ホームページ www.aisei-hp.jp

あたたかな心のふれあい
HEART-WARMING



研修内容を読んで・・・

数年前のものですが、この研修内
容を皆さんは、どのように受け止
められたでしょうか？

私は、当たり前なことなのに忘れ
がちな基本的なことを再認識した
と共に、意識をして「声掛け」を
しようと思いました。また、物言
えぬ患者さんに対し、声を聴こう
とする姿勢を忘れないよう、変化
を見逃さないように努めようと思
いました。

しかし「物言えぬ患者さまの
声を聴く！」とはどういう事なの
か？と疑問でもありました。

患者さまに安心して頂きたい、
信頼して頂きたいと思って関わ
っていても、かえって勝手な押
し付けになっているのでは？と
考えることも。最近、コミュニ
ケーションの取れる患者さまが
増え、多くの要望や思っている
ことを聴く機会が増えました。
「カーテンを閉めて欲しい」髭
剃りをする時は「丁寧に両手で
やってくれ」などなど・・・物
言えぬ患者さまに対し、コミュニ
ケーションのとれる患者さまの
声に、少しでも近づけることが
「声を聴く」ことには、近い関
わり方の一つになるのではない
かと考えるようになりました。

これも皆さんと一緒に考えて
みたいことの一つです。

勉強会係り A・M

2 研修レポート より…

さて今回は、2013年11月
に行われた介護福祉士実務
者研修の研修レポートから抜粋
(ほぼ丸写しですが👤)したもの
を載せたいと思います。

テーマ

「ちょっと待った！その介護の
根拠言えますか？」

～根拠に基づいたケアを行う
ために パートⅡ～

◎専門職としての第一歩

・何かする前には、患者さま
に「声掛け」するのがケアの
原点

・目の前の患者さんとどう向き
合ったのか、エピソードが大事
である(記録する習慣をつける)

・他職種間で言語化して伝えて
いけない(思っているだけで
はダメ！)

・目の前にあっても、意識をし
ないと気づかない
(例えば、廊下や病室にゴミが
落ちていても拾わないなど)

※これらの日々の習慣や関わり
の中で、患者さんの異変に気づ
くことがあり、早期に発見し
対応することが出来る



Nursing care communication.

to be best in a
point of view.
Evidence ['ev
material obje
court, show
proof or to e

テーマ 「ちょっと待った！その介護の根拠言えますか？ ～根拠に基づいたケアを行うために パートⅡ～

良い介護につなげるには…

- よい介護につなげるにはどうすればよいのか？

～後始末の作業的な素人の介護から、
専門職としての介護へ～

- ・一人一人の技術や資質が向上しても組織が変わらなければダメである
- ・介護する側の都合でケアを前倒して流れ作業になってしまっていることがある

→患者さんの目線に立ち、議論をしてケアを変えても、自分たちの都合ですぐ元のやり方に戻ってしまう

- ・患者さんに関わる時の「早さ」について、メリット・デメリットはあるが早ければ良い。というのは、あまりない。「早さ」については、とても怖い事である。

- ※ 日常的に職員間でケアにずれが出ないためには、同じ勉強をしていき、必ず原点に戻ることが大事である



食べること・出すことに共通する「介護」

- 「座位」が生活づくりの出発点
活動的な生活を送る為には、ベッドから離床して座位で過ごす時間を多く持つことが大事である。
車いすで移動の際には、フットレストを下して足を乗せるが、移動の状況にない時にはフットレストを上げて、足を床に着地させる。



足が高い位置にある事で滑る原因にもなり、問題のある座位の原因にもつながる

- 自分で食べられる条件について

 - ① 椅子に腰を掛け、テーブルの高さを調節し、床に足をしっかり着ける。
 - ② 食事の内容（見た目、味、食べやすさ）
 - ③ 患者さんの体力維持、義歯の調整、食器の適合など・・・

- ※ 口腔ケアは大切！

不顕性誤嚥

咽せない誤嚥のこと。

むせない誤嚥のサインは？気づいていても気にしなければ見過ごしてしまう。患者さんのいつもとは違う変化を見逃さないようにすることが大事。

- 排便ケア

- ・下剤が「下痢」や「便失禁」を生み出し、患者さんの尊厳を損なっていることを知る
- ・下剤に頼らず、排便を促すケアを行う
- ・夜間の「尿」も昼間の生活の活性化が鍵を握る

オムツかぶれについて

「排泄された便と尿とが混じり合い尿中のアンモニア作用によって強いアルカリ性に変化し、皮膚を欠損する」ことによって発生→火傷状態

- ※ オムツのポリマーは中性で初めて固まる為、下痢便は固まらない（オーバーフローしてしまう）。清拭タオルで皮膚を擦ることで、さらに皮膚の欠損は大きくなる

- ※ 物言えぬ患者さんの「気持ち悪いよ」「痛いよ」「かゆいよ」「辛いよ」などの声を聴こうとする姿勢を持つことが大事！！